

ellipse

[エリプス]

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。

TOPICS

徽音堂物語7 新しい徽音堂



ワタジ

深津知寿 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT
講演会のご報告
公開セミナーのご報告
科学史散歩7
「日本初の女性理学博士 保井コノ」

INFORMATION
お茶の水女子大学 イベント情報
事務局よりお知らせ

保険の“もったいないチェック”しませんか?
スリム化のお手伝いを致します。

東京海上日動代理店 セイワインシュアランス
代表 青島 朋子 (S53 地理卒)
TEL0120-818172 (フリーダイヤル)
e-mail : seiwa0019@coral.ocn.ne.jp

《セイワインシュアランスのモットー》

私共はお忙しい皆様に代わって、刻々と変化する流れに遅れないように情報をキャッチし、勉強し、使命感を持って情報提供させていただきます。そして、皆様が保険をお選びになるお手伝いを致します。常にお客様の立場で考え、皆様に喜んでいただけるよう努力していきます。大切なお客様をお守りし、いつまでも安心と信頼のパートナーであり続けるために研鑽を積んで参ります。セイワインシュアランスはお客様にありがとうございますと言っていただける代理店を目指します。

「お茶大ゴーフル」はご賞味いただけましたでしょうか?
お土産に、記念に、会合にぜひお買い求め下さい。
お茶の水女子大学生協で店頭販売しています。

お茶大ゴーフル 好評発売中!



ばにら・ちよこ・いちご 各4枚入 600円(税込)

通信販売いたします

※送料はお客様負担となります。

ご注文はメール・電話・FAXでどうぞ!
E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL&FAX : 03-5976-1478
●発送も承りますので、お茶の水学術事業会事務局までお申込みください。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ



ヤマザキ

”おいしい食パン”って、
こういうことなんですわ。

特撰
超芳醇

登録講師 お茶大同窓の皆様へ
募集!

英語 ■ 現代文 ■ 古典 ■ 日本史 ■ 世界史 ■ 数学

選考研修後採用 資格経験により優遇 週1~2回 各90分

帰国高校生専門の学力養成機関
教育コンサルティング クリエイティングプロセス
創業1999年 代々木駅 徒歩6分

塾長 三原 由起子

大学院人文科学研究科(日本文学)1982年修了
大学院人間文化研究科(比較文化)1989年単位取得
旧文部省帰国子女指導者講習修了
元成蹊高校・東京学芸大学附属高校教諭

履歴書送付 & 詳細お問合せ先

Creating Process
教育コンサルティング

(有)クリエイティングコミュニケーションズ
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-3-1-603
TEL:03-5772-2737 FAX:03-5772-2738
mihara@creating-c.com
http://www.creating-c.com

編集後記

桜蔭会神奈川支部主催の多賀幹子さんの講演は、教育についてでした。教育の様々な問題点が指摘される今日、実際に学校を見学したり、本を読んだり、講演会に参加するなどして、自分の意見を持つことが大切ではないでしょうか。当会では、講演会のお手伝いや講演録の作成を通して、考える材料を提供していきたいと思っております。ご活用ください。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか?次号は5月、約2,500部発行、広告料金は20,000円/回、会員の皆様をはじめ全国の公共機関などに送付します。ブックレットの広告も募集しております。詳しくは事務局へお問合せください。

事務局

OPEN 月~金 10:00~16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org
http://www.npo-ochanomizu.org

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字しております。

き いん どう
徽音堂物語 7

新しい徽音堂～本館改修工事第Ⅲ期を終了して



徽音堂物語第7回目は、本館改修工事第Ⅲ期終了後の様子をご紹介します。
お茶の水女子大学の象徴でもある、徽音堂を含む生活科学部本館の改修工事第Ⅲ期が終わりま
した。第Ⅲ期工事では、寄付工事にて設置したエアコンはそのままにし、内装の模様替え(椅子・
床・天井)、耐震、電気設備(照明・映像・音響設備)、機械設備(空調・換気設備)等を整備しました。

今回の工事は、一見ただけではわかりにくい工事が多かつ
たのですが、徽音堂の椅子が新しくなったことは、わかりやす
い改修のひとつです。1階878席(テーブル付き)、2階322席
(テーブルなし)、合計1,200席の新しい椅子が設置されました。
以前は、机が前の席の背もたれについていましたが、今度は
自分の椅子の肘掛についています。これで、前の席のかたを気
にせずに、メモがとれる!と感動しました。徽音堂で行われる
講演会などに、ぜひお越しいただき、すわり心地を確かめてく
ださい。

床は、なら材無垢で張替え、壁は塗装
仕上げ、天井は吸音石膏ボードで張替
えました。大空間吊り天井のため、地震
による天井材落下防止の振れ止めを設
置しました。

舞台には、出し入れ自在の大型スクリーンが設置され、プロ
ジェクターやパソコン等の映像を映し出すことができます。舞
台照明も新たに設置されました。数色のカラー照明の角度を
調節することによって、様々な演出を行うことができます。



▲徽音堂内部(平成18年9月竣工時)



▲舞台照明と大型スクリーン

映像・音響・舞台照明のスイッチ類は2階の操作卓に集約し
ました。



▲映像・音響・舞台照明の操作卓



▲徽音堂内部(昭和10年ごろ)

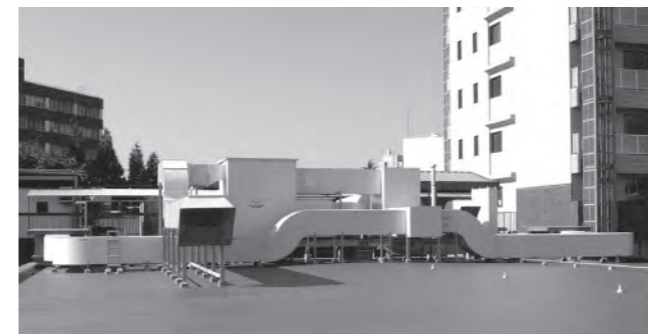
伝統的な建物としての美しさを残すため、換気設備の排気
吸込口に既存化粧壁を利用してあります。



◀排気吸込口の化粧壁

換気設備は室内の二酸化炭素濃度の上昇により自動で運転
し、使用状況に応じた風量で換気を行います。暖房時は空気搬
送ノズルからのジェット気流で上部にとどまりがちな暖かい空
気を攪拌し室温を均一にします。

屋上には換気設備が設置されました。全熱交換器によって
冷暖房時に出る熱の約60～70%回収するため、省エネルギー
効果の高い換気設備となっています。



▲屋上の換気設備

普段は見ることはできませんが、天井裏もきれいになりま
した。



◀改修後



◀改修前



◀改修後の椅子



◀改修前の椅子

改修工事に深く関わっている
施設課から

大学本館、大学講堂(徽音堂)は、本学の保存建物であ
り、今後、文化庁の有形文化財建造物として登録予定です。
今後とも、きれいな建物として残したいと考えております
ので、全館内を貼紙禁止としています。ご協力お願いいた
します。

*写真は全て、施設課から提供していただきました。

在学生から

刑部南緒子(理学部生物学科3年)

第Ⅲ期工事が終わり、特筆すべきはやはり、椅子とテー
ブルです。適度な硬さのクッションと出し入れ自在な座付
きテーブルは、式典や講演会等で長時間使用する際であ
ってもじっくりと耳を傾け静思することに集中させてく
れます。椅子座面の色使いもあいまって、より一層あた
たかさの増した空間となりました。ゆったりとした豊かな気
品、そして厳かで清澄な雰囲気。こうした徽音堂の凛とし
た美しさに触れるたび、在校生として襟の正される思い
を新たにしています。徽音の名に恥じない歩みをしてい
かねばならない、と自分を律してくれる存在でもあります。
先輩方から連綿と受け継がれてきたお茶大の精神を、徽
音堂が今後も余すところなく伝え続けてくれることを祈っ
ております。

講演会のご報告

後援事業

桜蔭会神奈川支部が主催した秋の講演会が開催されました。この講演会は、お茶の水学術事業会が後援として申し込み窓口業務を行いました。当日は、60名ほどの参加者があり、皆さん熱心に聞き入っていたそうです。

演 題：「私の見た海外教育事情」
 講 師：多賀 幹子氏（昭和47年お茶の水女子大学国文学科卒業）
 日 時：2006年11月26日（日） 13時～15時
 場 所：ヨコハマプラザホテル 5F 芙蓉の間

アメリカに行って日本との違いを一番感じたことは、少しでも良い点があれば、指導者が大げさと思われるくらいほめてくれることです。個人面談に行くと、日本では欠点を指摘されることが多いのですが、アメリカでは良い面を努めて取り上げてくれました。この「ほめ育て」は「セルフエスティーム」といって、アメリカ初等教育の根幹です。「自尊の心を育てる」という意味で「自分はきちんとした一人の人間で、愛されている。自分はこれでいいんだ。」と自信を持たせることが目的です。雑多な人種を抱えているアメリカにとって、人種によって差などなく、自分は自分でよいという教育は勉強以前の重大なことなのです。無論どんな社会も光があれば影があります。日本で考えられないことは、銃と麻薬でしょう。高校に金属探知機が設置されたことからその深刻さがうかがえます。麻薬に関しては高校生になってからでは遅いということで、娘が幼稚園のときから「麻薬と聞いただけ『ノー』と言おう」という教育をしていました。

◇◆◇◆

イギリスの教育で今、顕著なことは、「ガールズパワー」だと言われています。即ち、女の子がとても優秀だということです。高校生には「GCSE (General Certificate of Secondary Education)」といって、義務教育認定試験があり、これが公

開されています。全科目女性が上位を占めていて、しかも、男子との差がひらくばかり。有名校のオックスブリッジに進学する一番が私立中高一貫の女子高です。

◇◆◇◆

また、日本にはないユニークな制度として、「ギャップイヤー」といって、大学に合格してから、入学資格を持ったまま、一年間のモラトリアムの期間がもてる制度があります。この間は、どこで何をしても良いのですが、結果として落第率が下がるという効果がでています。イギリスの大学は、落第率が12%と高いのですが、ギャップイヤーをとった人は、1%になります。学ぶ意欲が高くなるようです。日本でも取り入れると良いのではないかと思います。もうひとつ、日本にない制度で、「メンター制度」があります。「メンター」とは助言者という意味です。地域の社会人が、中学生の相談相手になります。絶対秘密厳守です。ロンドンから全国へ広げようとしています。無論イギリスも良いことばかりではありません。いまだに階級社会が残っており、食べるものから、読む新聞まですべて違います。しかも、その根幹が教育の差。イートン、ハローらのパブリックスクールの素晴らしい教育環境。それに比べて、コンプリヘンシブといわれる公教育の貧しさ。それがどこまでもついてまわっており、根の深い問題です。



▲ 多賀幹子氏



▲ 講演会の会場風景

公開セミナーのご報告

共催事業

お茶の水学術事業会と Ochas (オチャス) の共催で食育セミナーを開催しました。以下、Ochas より報告します。



▲ セミナー風景

テーマ「共食のすすめ ～磯野一家を見直そう～」

Ochas 食育セミナー

2006年11月11日の徽音祭で、お茶の水学術事業会のバックアップの下、食育セミナーを行いました。当日は悪天候にもかかわらず、会場となった生協食堂の一角は、50人近くの参加者で満員となり、大成功となりました。

Ochas とは

このセミナーを行った Ochas とは、お茶の水女子大学生活科学部食物栄養学科の学生が中心となり食に関する活動をしているサークルです。学校の授業で得た栄養学的知識や、自分の得意分野を活かす活動を通し、栄養学の知識を深めるとともに、社会貢献、地域貢献につなげるために自ら企画し実行することを目標として様々な活動を行っています。今回のセミナーもその活動の一環として行いました。

目的と経緯

食には「第一機能」(栄養学的機能)、「第二機能」(おいしさ)、「第三機能」(生体調節機能)という三つの機能性があります。そこで、私達 Ochas はこれらに加え、新たに「第四機能」という概念を考え出しました。「第四機能」とは、食事を通して得られる喜びや楽しみ等の〈プラスの感情〉の効果を指します。

Ochas が提案するこの「食の第四機能」をより多くの人に知っていただくために、徽音祭という機会を利用して食育セミナーを開催することにしました。また、より専門的なクオリティの高いものにするため、お茶の水女子大学講師である赤松先生にも講演をしていただきました。

テーマ『孤食・共食』について

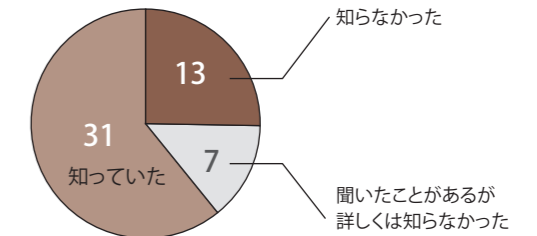
「食の第四機能」に繋げるテーマとして、Ochas が試行錯誤の末選んだのは『共食』についてでした。人と一緒にごはんを食べることで得られる喜びこそが「食の第四機能」として私達は考えました。『孤食・共食』は、人の価値観によるもので、これが正しい・悪いという定義がありません。また、孤食の背景には様々な時代の背景が潜んでいます。そのため扱いにくいテーマでもありました。しかし、それゆえに解説者・参加者という2つの立場に立って深く考え、またこのテーマについて私たちなりの提案を見出すことが出来ました。

成果

協賛品(森永乳業・大塚製薬・サントリーから提供していただきました)や食堂が使えたという場所の効果もあり、当日は満員の中開催することができました。参加者のアンケート集計結果より、今回のセミナー開催の意味があったことも確認できました。『孤食・共食』についても考えるきっかけにてもらえたようです。「セミナー内容は分かりやすかったですか?」という質問には、51人中40人も人が「分かりやすかった」と答え、「分かりにくかった」と答えた人は1人もいませんでした。サザエさん一家を扱ったことで、分かりやすいセミナーになったようです。

講演して下さった赤松先生、協賛企業を紹介して下さった山本先生、協賛企業、お茶の水学術事業会、そしてセミナーに来てくださった方々、ありがとうございました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

Q あなたは「孤食」という言葉を知っていましたか?



(アンケート対象者：セミナー来場者 51人)



▲ Ochasメンバー

▼ 森永乳業・大塚製薬・サントリーからの協賛品



お茶の水女子大学 イベント情報

2007年2月以降にお茶の水女子大学で開催される各種イベントのお知らせです。詳細は各主催者にお問合せください。

◆子どもと学びワークショップ

【主催】お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター 【共催】北区教育委員会 【詳細・申込み】子どもセンターのホームページへ <http://www.kodomo.ocha.ac.jp>

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2007年2月10日(土) 14:00~16:00	子どもと学びワークショップ2月例会 主題:親と教師のためのワークショップ「子どもの安全安心学入門」 講師:清永賢二(日本女子大学)	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】お茶の水女子大学本館103
2007年3月24日(土) 13:00~15:00	子どもと学びワークショップ3月例会 主題:政治教育の現状と課題 報告:林大介(NPOライツ常任理事) コメンテーター:近藤孝弘(名古屋大学)	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】お茶の水女子大学本館103

◆幼児教育未来研究会

【主催】お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター・同附属幼稚園・東京学芸大学総合教育科学系教育学講座幼児教育分野・同教員養成カリキュラム開発研究センター・同附属幼稚園【後援】文京区教育委員会 【詳細・申込み】子どもセンターのホームページへ <http://www.kodomo.ocha.ac.jp>

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2007年2月17日(土) 10:00~12:00	幼児教育未来研究会2月例会 テーマ:発達と学びの連続性 事例提供:お茶の水女子大学附属幼稚園 助言:秋田喜代美(東京大学大学院)	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園

◆LWWC 2007年度前期 公開講座

【お問合せ・お申込み】お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 化学・生物総合管理の再教育講座事務局 E-mail: koukai-q@cc.ocha.ac.jp
Tel 03-5978-5096, 5494 Fax 03-5978-5019 詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> 【会場】お茶の水女子大学

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2007年4月~2007年7月	LWWC「化学・生物総合管理の再教育講座」 本再教育講座では、現代社会をよりよく理解する教養を涵養することを目指し、化学物質や生物によるリスクの評価・管理、そして技術革新およびその社会・生活とのかかわりなどについて、研鑽をつむ機会を提供しています。今回は6回目の開講で、毎回好評を博しています。従来からある科目は講義内容を見直し、また新規科目も加わりました。	無料	【スケジュール】 平日 18:30~20:00 もしくは土曜10:00~11:30、11:50~13:20 もしくは土曜14:00~15:30、15:50~17:20 開催曜日は科目によって異なり、週1回(90分)の講義。 全28科目(予定)から選択可能、1科目は15回の講義で構成。

cha cha cha
茶・茶・茶 お茶大再発見!

科学史散歩7

~日本初の女性理学博士 保井コノ

学校でも公然と「女のくせに学問なんて」と言われた時代に、日本人女性として初めて博士号を取得して、多くの女性に希望と勇気を与えた保井コノを紹介します。

保井コノは、明治13年に香川県大川郡三本松村で生まれ、明治35年に女子高等師範学校を卒業しました。岐阜県立高女教諭などを経て、明治45年母校の助教授として着任し、大正2年、文部省より派遣されてドイツ・アメリカに留学をしました。「女が科学をやっても物にならない。国のためにもならない」という文部省に対して、「英・独には女性科学者がいる。保井という優秀な学者をだめにするのか」と東大理工学部の藤井健次郎教授らが抗議し、「理科及び家事研究のため2年間の留学を命ず」となぜか家事研究の項目が加わって留学が許可されたのでした。

帰国後、東大植物学科嘱託となり、女性として初めて帝国大学の教壇に立ち、遺伝学を講義しました。昭和2年、47歳のとき東大より理学博士を授与されました。博士号の権威が今日の比ではなく、持っているだけで一生食うに困らないと言われていた時代です。女性が男性と並んで、研究者として認められた画期的な出来事に世間は湧き、新聞は大きくこの事を取り上げました。このあとの10年間で博士号を取得した女性は、実に20人にのぼりました。大学の教壇に立つだけでなく、海外の学術雑誌に論文を掲載するなど、女性が理系研究者として生きていく道を切り開き、昭和46年3月24日、91歳の天寿を全うしました。



▲保井コノ
写真提供:お茶の水女子大学
ジェンダー研究センター

【お詫び】前号(エリブス11号)において、5ページの科学史散歩に掲載した辻村みちよの写真は、お茶の水女子大学ジェンダー研究センターから提供していただきました。その旨、明記することを失念し、深くお詫び申し上げます。

文京アカデミー委員の活動

★「国際交流フェスタ」のお知らせ★

文京区の区民・大学・企業等と連携し、外国人と日本人が交流する場を作り、相互理解を深めようと財団法人文京アカデミー国際・観光会議が平成18年に発足しました。

★
現在、文京区内には6,500人以上の外国人(留学生・家族・雇用)が住んでいます。生活習慣・日本文化の理解を深めていただくために、また国際理解・交流を推進するお手伝いが出来ればと、お茶の水学術事業会から江澤理事・村重理事が文京アカデミーの委員として参加しています。
第1回の試みとして文京アカデミー「国際交流フェスタ」が開催されます。



日 時 : 平成19年2月18日(日) 10:00~15:00
場 所 : アカデミー文京 & 区民ひろば
(文京シビックセンター地下1・2階)

どなたでも無料で参加できますので、お近くの外国の方、日本の方お誘いあわせの上で参加ください。

〈問い合わせ先〉
文京区国際交流推進係 TEL 03-5803-1310

講師斡旋について

ご要望に合わせて講演会やセミナーに最適な講師を斡旋します。自治体主催の市民講座や講演会など、講師のご要望がありましたら、お気軽にお問合せください。

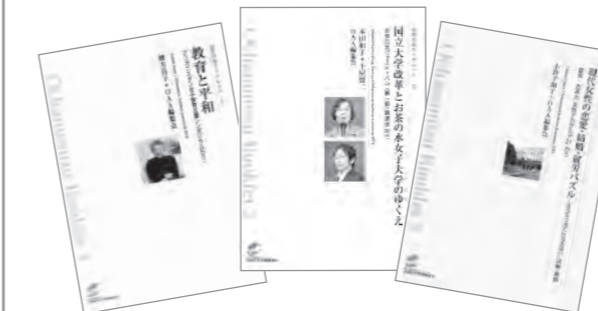
◆地方講演会共催のパートナーを募集◆

東京都以外の地域での講演会を共催していただける団体等がございましたら、ぜひ、ご連絡ください。
TEL&FAX : 03-5976-1478
E-mail : info@npo-ochanomizu.org



お茶の水ブックレット

お茶大で催されるさまざまな講演やシンポジウムの内容を学外のみならずお届けするために、お茶の水ブックレットを出版しています。大学が発信する新鮮で貴重な情報をお仕事や日常にどうぞお役立てください。



1冊500円(税込・送料別)でお求めいただけます。
メール・電話・FAXでご注文ください。
最新刊については随時ホームページでお知らせしております。
TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org/booklet/>

- 第1号「教育と平和—アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」
緒方貞子氏へのお茶の水女子大学名誉博士称号授与式での記念講演・五女子大学学長によるアフガニスタン女子教育支援/パネルディスカッション。
- 第2号「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」
本田和子前学長の講演(表題)、土屋賢二教授の講演「お茶の水女子大学はどんな人間を生み出してきたか…被害者の立場から」を収録。
- 第3号「ライフワールド・ウオッチセンター」(在庫なし)
センター設立記念シンポジウムでの記念講演を収録。名古屋市大名誉教授 伊東信行氏、文科省 井上正幸氏、日本学術会議会長 黒川清氏 他
- 第4号「生命科学フォーラム」
お茶大理学部研究者による生命科学最先端の講演集。
「ストレス応答の生物学」「ゲノム解析…遺伝子診断と治療の扉」「糖鎖を操作して健康を守る」「インビボ核磁気共鳴…診断と治療への寄与」他
- 第5号「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル」
「読売・お茶大 女性アカデミア21」での講演とシンポジウムを収録。
心理学者で評論家の小倉千加子氏の講演(表題)とパネルディスカッション。
- 第6号「『女性と科学』を科学する」
「読売・お茶大 女性アカデミア21」より、宇宙飛行士 毛利衛氏と評論家 樋口恵子氏との対談、(株)リコー常務執行役員 國井秀子氏、サイエンスライター 青山聖子氏、お茶大理学部教授らによるパネルディスカッションを収録。